

春の地で

松下幹生

雪が積もった 枯れ野の原に
如月の陽が ゆっくり当り
雪が溶け出し 種が目覚めて
下でゴソゴソ 動き出す
寝覚めの種が あくびを1つ
伸びした腕が 新芽となって
雪解けの地に おはようの朝

土の中から 寝てたヤツらが
ちょこんと目だけ 覗かせながら
外を確かめ やっと起き出す
だけど空腹 腹が鳴る
朝飯求め まずは水分
喉はカラカラ 目覚めのスープ
雪解けの地に おはようの朝

弥生の山に 根が張り巡る
竹藪の中 頃合いを見て
位置を考え ニョキリと出だす
雨の後なら なお良いが
地表についに 頭を出して
経木(きょうぎ)のドレス
身にまといつつ
春の竹林 おはようの朝